

# 今日の芸術

uastyle

## 今日の芸術

---

芸術の根源的な意味・問題・位置付けを独自の切り口で分解し再構築していく様は、この世界と現実の世界を知り尽くしている著者である「岡本太郎」ならではのであろう。絵画や彫刻などの分野で活躍された著者は文章の表現力も巧みな術でもって具現化しており、読者の感覚を真白の状態に導き、何でも出来るのではないかと魔術的に誘い込んでいくのはさすがである。

「八の字」という記号がある。それは日本人のみならず他国の人々でも有名な「富士山」のことを指す。昔からよく富士山の絵が至る所やものに描かれ、無感覚のまま無刺激のまま脳に勝手に入り込んで消滅していき、あまり心の中に残らない不思議な絵づらである。しかし、日本人は特に普遍的で失敗要素の少ないこの絵づらに皆でや協調的な意味合いを多分に含み、多くの事を助けられてきたのだ。著者は、それらの画一的な右倣えの思想が蔓延ってきたということに対する改善をおおいに促し、本質を見抜く独自の視点で物事を捉えていく発想・着眼点・着地点を当たり前のごとく得る事が出来ない事には有意義な人生や人間関係を獲得していけないということを教えているのだろう。

十人十色という言葉がありますが、とても大きな意味合いを持ちます。芸術という分野だけに限らず他分野でもこの言葉の持つ意味は重要で、様々な役割の仕事に当てはめればどんな仕事にでも深い意味と感覚と結末が宿っている事を実感出来るはずで

とにたく、物事を型にはめたり簡単な方面にだけ考えたり実行したりせず、難しい方面や知らない方法や道を選択し歩いていく事も必要不可欠な事です。一步踏み出してしまえばすぐに慣れ、違和感も怖さもなくなります。同じ一步でも簡単な一步はすぐに忘れます。しかし、難しい一步は記憶に残り世を動かす、後世に語り継がれていくものです。